

6/13 すくすく元気に育ちますように

6月13日（金）、今年度からスタートした町の「出産祝品事業」と社会福祉協議会の「新生児祝品事業」の交付第一号として高橋慈英さん・侑佳さん・5月に誕生した想空ちゃんご家族に荒木町長から育児用品を詰め合わせたお祝いギフト（写真右下）が、社会福祉協議会の木下常務理事から商品券が手渡されました。

高橋さんご夫婦は「子どもが少なくなってきたので、友だち・同級生をたくさんつくってもらえたら嬉しいなと思います」と話されました。



さまにステーションライブ 2025 開催

6/15

6月15日（日）、様似エキサイティングサークルが主催する「さまにステーションライブ 2025」が旧様似駅で開催され、町内外から約200人が会場を訪れました。

当日はあいにくの悪天候となりましたが、ライブ会場の駅ホームステージでは、様似中学校吹奏楽部や町内外のバンドなど、全8組による熱のこもった演奏が行われ、雨をも吹き飛ばす盛り上がりとなりました。

←↑様似町出身の浦河高校生5人組で結成された【BEGI-BAN】。昨年様似中学校を卒業した5人が、地元様似町を盛り上げるため、魂を込めた熱い演奏を披露してくれました。8月には火まつりにも出演予定です！

6/16 防災無線に吹き込むお礼の言葉

6月16日（月）、様似小学校児童会の附田悠士郎さんと荒木琥太郎さんが様似町役場を訪れ、18日（水）から20（金）までの3日間で行われた「あいさつ週間・見守り活動」のお礼の言葉を防災無線に吹き込みました。

はじめに防災担当の町職員から、声の大きさや原稿を読む速度、文章を区切るタイミングなど防災無線に吹き込む際のコツを教えてもらったあと、緊張した面持ちで本番に挑みました。録音は無事に一回で成功、最後までミスなく読み上げることができ、安堵の表情を浮かべていました。



18日から20日までの3日間、二人の声が防災無線から放送されました。

令和7年度新採用職員紹介 その3

▼保健福祉課 介護保険係 主事補 はらだ みさき 原田 美咲
▽出身地：様似町

このたび4月から保健福祉センターきらくで勤務させていただいております。社会人一年目でわからないことがたくさんありますが、新しいことを学べる楽しさを忘れずに、日々多くの事を学んで、早く仕事を覚えて行きたいと思います。慣れない仕事でご迷惑をおかけするかと思いますが、これから力になっていけるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。



田植えの季節
～実りの秋が待ち遠しい～



漁組女性部が桜の木を植樹

5/22

5月22日（木）、町有牧野で日高中央漁業協同組合様似支所女性部（古海光枝部長）とえりも漁業協同組合冬島支所女性部（坂本いづみ部長）による合同植樹「お魚殖やす植樹運動」が行われました。

この植樹活動は、海岸林や河畔林をはじめとした豊かな森の存在が海の魚を育むという考え方をもとに、全道各地で行われており、様似町ではひだか南森林組合などの協力のもと毎年実施されています。植樹には両女性部など関係者45人が参加し、エゾヤマザクラの苗木10本を植えました。



5/26 交通安全母の会花壇整備

5月26日（月）、様似町交通安全母の会（高村洋子会長）のみなさんが様似駐在所前の花壇整備を行いました。

花壇には春から夏に向けて季節の花々が植えられ、道行く人の目を楽しませています。高村会長は「きれいな花を見て、交通安全の大切さを少しでも意識してもらえたらうれしいです。」と話しました。花壇のあるこの場所は通学路にも面しており、鮮やかな花々が交通安全への意識を高めるきっかけとなっています。今後も、こうした活動が町全体の安全意識の輪を広げていくことが期待されます。



アイヌの伝統にのっとり、先祖へ祈り

5/30

5月30日（金）、旧岡田小学校跡地内のチセにて、様似アイヌ協会（菊地修二会長）によるイチャルパ（先祖供養祭）が行われました。アイヌの伝統にのっとり、いろりを囲んでカムイノミ（神への祈り）が行われ、屋外のヌサ（祭壇）の前で先祖の供養が行われました。

チセでの儀式後には、千歳アイヌ文化伝承保存会による奉納舞踊が披露され、最後の輪踊りには参加者一同も加わり、交流を深めました。



ほほえみ★マイルストーン

01 02 03

6月に1歳・2歳・3歳になられた
お子さんを紹介しています。(掲載
について承諾をいただけたかたのみ)



桂川 あず 愛寿ちゃん(1歳)



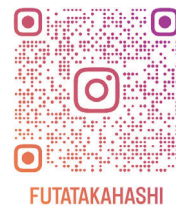
高橋 とうご 燈吾ちゃん(3歳)

写真の提供について、ご協力いただきありがとうございました！

地域おこし 協力隊便り

No.21

高橋隊員の
Instagram →



FUTATAKAHASHI



令和4年10月着任
高橋 風
観光振興



こんにちは。様似もだんだんと暖かくなってきて、もうすぐ採り昆布漁も
始まりますね。

僕はここ最近、アポイ岳に毎日のように登っています。現在、アウトドア
ガイドとしての勉強をしていて、先輩ガイドのツアーに同行したり、友人・
知人から紹介のお客さん(時には海外からの)と登ることもあります。日に
日に咲く花が変わっていったり、天候による登山道の状態の違いなどなど、
楽しく学んでいます。どんな仕事もそうだと思いますが、やはり経験を積む
ことが重要だと思うので登って登って登りまわろうと思います。いつでも「い
い山だな」と感じられるアポイ岳の魅力は尽きません。ありがたいことに体
も元気で、6日連続でも不調が無かったのには安心しました。まだまだ未熟
ですが、これからも経験を重ねてお客さんに楽しんでもらえるようになって
いきたいと思っています。

「女性活躍推進法『見える化』サイト」公開中

内閣府などが運営する「女性活躍推進法 見える化サイト」
では、国や都道府県、地方自治体ごとの女性の活躍状況や採用・
管理職割合、男女別の育児取得率や超過勤務の状況等を公表し
ています。

「女性管理職の割合は？」「育児と仕事の両立支援制度は？」
など情報が公開されています。

性別に関わらず誰もが働きやすい職場をつくるために、まず
は「知ること」から。ぜひ一度ご覧ください。

男女共同参画を知ろう



【女性活躍推進法『見える化』サイト】



夏のワクワク ブラアポイ

- 日時 7月12日(土)・19日(土)
14:00 - 15:00 (雨天中止)
- 集合 アポイ岳ジオパークビジターセンター
- 定員 10名

- 持ち物 歩きやすい靴
帽子・タオル・飲み物 など
(露出のない服装でお願いします)
- 申込 アポイ岳ジオパークビジターセンター
(TEL: 36-3601)



アポイカレッジ

めざせマントル！ペリドットから超深海潜航へ

プレートとプレートが衝突してめくれあ
がって、地表にやってきたアポイ岳のかん
らん岩。世界では、なんと「海域」にもか
らん岩が産する場所があるのです。一般
のかた向けのお話となりますので、どなた
でもご参加いただけます。

- 日程 8月7日(木) 19:00 ~ 20:30
- 場所 中央公民館 2階小ホール
- 講師 道林 克禎 教授
(名古屋大学大学院環境学研究科
地球環境科学専攻地球惑星科学系
地質・地球生物学講座 岩石鉱物学研究室)
- 問い合わせ／アポイ岳ジオパーク推進協議会
(TEL 36-3601)

日高山脈襟裳十勝国立公園指定記念事業 アポイ岳ジオパークDE スタンプラリー

8月9日～13日

アポイ岳登山口～アポイ岳山頂

各場所に隠されたスタンプを探し当て、
全ての場所のスタンプをコンプリートできたら
景品がもらえます！

■参加方法

- 1 アポイ岳登山口(入山届記載台)でスタンプ
用紙を受け取る。
 - 2 用紙の指令をヒントにスタンプを探して、
スタンプを押していきます。
 - 3 全てのスタンプを集めたら景品と交換！
- 問い合わせ／商工観光課ジオパーク推進係
(TEL 36-2120)

アポイ岳ジオパーク
トピック&ニュース
Mt. Aoi Geopark Topics & News

ジオトピ

エンルム岬DEゴミ拾い

エンルム岬の東側海岸は大きな湾になっており、毎年多くの漂着物やゴミが流れつきます。
きれいな海を次の世代に残していくために、様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会主催の清
掃活動「エンルム岬DEゴミ拾い」が昨年に引き続き開催されました。今年も日高信用金庫や
地域住民のかたがた総勢23名にご協力をいただき、約400キログラムのゴミを回収しました。

清掃後はアポイ岳ジオパーク認定ガイドの田中正人氏から漂着物についての解説をいただき
ました。昔ながらのガラスの浮き玉だけでなく、朝鮮半島やロシアで使われているシラカバの
浮き、プラスチックの浮きなど、参加されたかたがたはウキウキしながら漂着物が流れ着く過
程に思いを馳せていました。

